

# 【山星屋グループ】SDGsステートメント

## 重要課題（マテリアリティ）

## 主な取組施策

## 2030年までの目指す姿

### 環境保全への取組強化



**①製・配・販連携による食品ロス削減への取組強化**  
 (2030年までに菓子廃棄物量を2015年度対比50%削減 ※売上百万円当たり菓子廃棄量)  
 ・出荷許容緩和への取組推進  
 ・出荷許容切れ商品の新たな販売方法の創出（EC活用等）  
 ・フードバンクとの連携

**②環境に配慮した商品の拡販**  
 ・エシカル消費に繋がる商品（フェアトレード認証商品、オーガニック商品等）の開発と得意先への積極的提案

**③エコ活動等の推進による環境負荷低減**  
 ・デジタル技術活用によるペーパーレス化の推進  
 ・伝票レス、検品レスまでの業界全体のシステム構築  
 ・包装資材の簡略化

### 多様な人材の確保と育成



**①従業員エンゲージメントの向上**  
 ・経営理念の浸透による企業と社員の成長ベクトルの整合  
 ・1on1ミーティング導入等によるモチベーション向上  
 ・従業員が主体的にキャリアを創造できる制度の整備及び支援

**②働きやすい職場環境づくり**  
 ・勤務時間、勤務場所にとらわれない働き方の更なる推進  
 ・ワークライフバランスの充実に向けた各種制度の拡充  
 ・健康経営の推進によるプレゼンティーズムの改善

**③新しい価値を創造する人財の育成**  
 ・DX人財の育成とそれによる業務変革の推進  
 ・自律的な成長を支援する育成制度の拡充  
 ・ダイバーシティ&インクルージョンの浸透によるイノベーション創出

### 安心・安全な商品の安全供給



**①オリジナル商品等の安全・安心確保と品質の向上**  
 ・商品の品質・法令順守の確認  
 ・製造委託工場との管理体制強化  
 ・蓄積した情報の商品開発への活用支援

**②災害時における緊急対応と供給確保**  
 ・ハザードマップに沿った拠点配置と配送ネットワークの構築

**③健康・社会に配慮した商品の開発**  
 ・社会的なニーズ（ローコスト、健康志向、地方活性化等）に適った商品の開発強化  
 ・エリアマーケティングの対応強化

### 物流機能の高度化と効率化の遂行



**①ホワイト物流の推進**  
 ・環境に配慮した輸送方式の選択  
 ・最適な配車マッチングによる車両台数の削減  
 ・ドライバーの待機時間削減に向けた取組み推進

**②製・配・販連携による物流効率化**  
 ・メーカー直送の推進による在庫管理の効率化  
 ・統一規格のパレットを用いた一貫バシチゼーションの取組み推進  
 ・グループ間及び同業他社との協業（共同配送等）による物流の効率化

**③デジタル化推進による物流サービスの生産性向上**  
 ・AI活用等による需要予測・在庫管理精度の向上  
 ・自動化設備の導入による省人化

### コーポレートガバナンスの充実



**①マネジメント体制の強化**  
 ・内部統制基本方針の厳格な運用  
 ・リスクマネジメントの徹底（業法等の遵守と法務チェック機能の充実）

**②コンプライアンス体制の適正な運営**  
 ・継続的な研修実施によるコンプライアンス意識の醸成

**③BCPの強化**  
 ・BCP組織体制のブラッシュアップ  
 ・災害対策マニュアルのアップデート

サプライチェーン全体で環境保全への取り組みを強化し、食品ロス等の社会課題の解決に貢献する

労働環境を整備し、従業員エンゲージメントを向上させることにより、従業員と会社の持続的な成長と発展につなげる

いついかなる時でも、生活者が必要としている安全・安心な商品を供給できる体制・ネットワークを構築する

物流DXの推進による菓子物流の構造改革を行い、サプライチェーン全体の最適化を実現する